

「二蹴入魂」



ぼくたち大栄FC(フットボールクラブ)は小学1〜6年生の計46人で、毎週日曜日の午前中に大栄中学校のサッカー場で練習をしています。

練習は主に低学年と高学年に分かれて行っています。低学年はボールに慣れるようにパスやシュートの練習をしています。高学年はパスやシュート、ドリブルなどの基礎練習はもちろんですが、ゲーム練習もして選手間の連係を磨いています。

大栄FCが目指しているのはパスサッカー。連係のとれたパスワークで相手の守備を崩してゴールを狙います。パスといっても味方の選手がいるところに正確にパスを出すだけでなく、誰もいないスペースにパスを出して、そこへ味方の選手が走り込んだり、走っている味方の選手の足元へパスを出したりなどさまざまです。コーチたちは「何も考えずに練習しても、ちゃんと考えた一球には勝てない」と教えてくれます。パスを受けた選手が次のプレーに移りやすい位置にパスを出すことを常に意識して練習に取り組んでいます。

また、パスの精度の高さだけでなく、パスの受け手のボールコントロールも重要です。大きくトラップしてしまうと、攻撃が遅れるだけでなく相手にボールを奪われることにもつながります。リフティングをしたり、2人1組になってボールを投げ合ってトラップを

大栄FC



**丸 大輝** キャプテン(6年生)  
サッカーが大好きです。毎週日曜日の練習が楽しくてたまりません。

したりしてボールコントロールの技術を磨いています。

日ごろの練習の成果が出たのは昨年の秋です。サッカーの大会は学年ごとにあり、秋季成田市サッカー大会5年生の部では優勝しました。今年も全学年が勝利に向かって練習しています。そして、将来はプロのサッカー選手になれるようにこれからも頑張りたいです。



球際のせめぎ合い



機敏で正確なドリブル

「みんな笑顔で」

わたしたち「たんぽぽ」は、毎週水曜日に三里塚コミュニティセンターでフォークダンスを楽しんでいるサークルです。現在のメンバーは、男性3人、女性21人で、指導は三橋紀子先生にお願いしています。

フォークダンスは世界各地に伝わる民族舞踊で、曲はスローなものからアップテンポなものまでさまざま、ダンスもペアやグループで踊るなどいくつかのパターンがあります。振り付けもバラエティに富んでいるので、一つ一つマスターすること、レパートリーが広がっていく喜びを感じることができます。

また、メンバー同士で向かい合ったり、手と手を取り合ったりしていると、みんなと一緒に踊っている一体感を味わうことができ、いつの間にか自然に笑顔を交わすようになっていきます。フォークダンスには、華やかなコスチュームを身にまとい、笑顔で体を動かすだけで、日常を忘れてしまつくりたい楽しい時間を過ごすことができる魅力があります。

最近、中学校でダンスが必修化されたこともあり、フォークダンスを授業に取り入れる



軽快なステップで

たんぽぽ



華やかな衣装を身にまとい

学校が増えていると聞いています。授業をきっかけにお子さんたちにその魅力を感じてもらい、フォークダンスを楽しんでくれる人が増えればいいなと思っています。

中台体育館で10月13日(土)、市内のフォークダンスサークルが一堂に会し、日ごろの練習の成果を披露する「フォークダンス祭」(「広報なりた」9月15日号15ページ参照)が開催され、わたしたちも出場します。サークルに入っていない人も一緒に踊ることができるので、興味がある人は、ぜひこの機会にフォークダンスの楽しさに触れてみませんか。

山田 あかりちゃん(10カ月)公津の社

大好きな2歳のお兄ちゃんと、毎日元気いっぱい遊んでいます。



藤岡 希俊くん(1歳)はなのき台

元旦うまれの希俊。1歳になっているいろいろな芸ができるようになりました。



須藤 大晴くん(2歳)吾妻

大きくなったらお友達に優しくできる子になるといいな。

山田 恵里ちゃん(4歳)松崎

とっても活発な女の子!! 今はチャリディングを楽しんでいます。